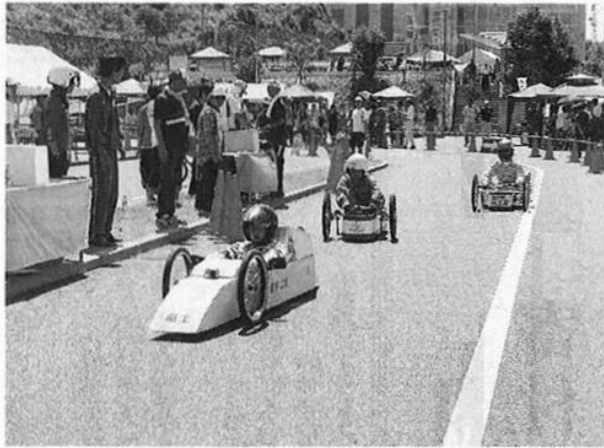


中・高生が手作りEVに挑戦



軽快な走りを見せる手作り電気自動車

「エコーチャレンジカップ'15」 東京都大主催

東京都大学主催の「都市大エコーチャレンジカップ2015」が22日、東京都多摩市の東急自動車学校で開かれ、茨城県神栖市の県立波崎高校が2年連続優勝に輝いた。

同イベントは、中・高校生による手作り電気自動車コンテスト。同大会は1998年から「バッテリーカーコンテスト」の名称で走行距離を競う大会を開催してきたが、2012年から現在の大会名に改め、走行タイムを競う大会を実施している。

16校18チーム参加 波崎高校(茨城)が連覇



2年連続優勝の波崎高校チーム

が工夫を凝らして製作した電気自動車がお目見え。仲間や父母らの声援を受けながら軽快な走りを見せていた。

今大会には1都6県(茨城、栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川、長野)から16校、18チームが出場した。

競技は自作の電気自動車(三輪以上)に規定のバッテリー(原動機自転車用)を搭載し、1周500mのコースを10周し走行タイムを競う。

会場は東急自動車学校四輪教習コース。1回に4チームずつが登場し、特設されたピットで1周ごとにドライバ

ーが入れ替わる方式でレースを行った。コースには各チームは各チームが工夫を凝らして製作した電気自動車がお目見え。仲間や父母らの声援を受けながら軽快な走りを見せていた。

■この記事・写真等は交通毎日新聞社の許諾を得て転載しています。
無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

学校法人 五島育英会